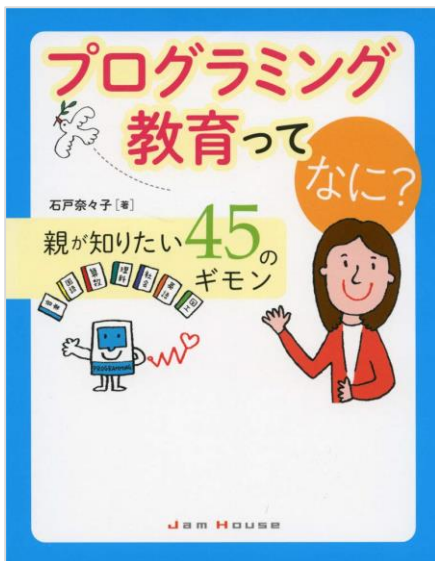


『プログラミング教育ってなに？ 親が知りたい45のギモン』 石戸奈々子(NPO法人CANVAS理事長)著 発刊のお知らせ

2018年10月、ジャムハウスより石戸奈々子(CANVAS理事長)著『プログラミング教育ってなに？ 親が知りたい45のギモン』が発売されました。ぜひ貴社媒体を通じて、本書を広くお知らせいただきたく、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

概要

2020年「プログラミング教育」必修化！ 子どもが何を学ぶか知っていますか？



「学校で難しい授業が始まるの？」「多くの仕事がなくなると聞いたけれどほんとう？」「入試も変わるの？」「今、何を準備しておけばいいの？」などなど。

2020年小学校から順次必修化される「プログラミング教育」について保護者の方の疑問を、石戸奈々子がお答えします。

一問一答式だから見やすく、知りたいことがすぐに分かります。親のためのプログラミング教育の教科書です。

【書籍データ】

『プログラミング教育ってなに？ 親が知りたい45のギモン』

著者：石戸奈々子

発売日：2018年10月4日

定価：1,550円+税

発行元：ジャムハウス

【著者プロフィール】



石戸奈々子(いしど・ななこ)

NPO法人CANVAS理事長/株式会社デジタルえほん代表取締役

慶應義塾大学教授

博士(政策・メディア)

東京大学工学部卒業後、マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員研究員を経て、NPO法人CANVAS、株式会社デジタルえほん、一般社団法人超教育協会等を設立、代表に就任。慶應義塾大学教授。総務省情報通信審議会委員など省庁の委員多数。NHK中央放送番組審議会委員、デジタル教科書教材協議会理事、デジタルサイネージコンソーシアム理事等を兼任。政策・メディア博士。著書に「子どもの創造カスイッチ!」、「デジタル教育宣言」、「デジタル教科書革命」など。

これまでに開催したワークショップは 3000回、約50万人の子どもたちが参加。実行委員長をつとめる子ども創作活動の博覧会「ワークショップコレクション」は、2日間で10万人を動員する。デジタルえほん作家&一児の母としても奮闘中。

本件に関する一般及び報道機関からのお問い合わせ先

特定非営利活動法人CANVAS

CANVASはこどものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てることを目標として設立されたNPOです。これまで50万人のこどもたちにワークショップに参加いただきました。こどもたちに新しい表現を生み出してほしい、新しい世の中を築いてほしい。そんな願いを叶えるため、産官学さまざまなプレイヤーのみなさまと連携しながら「未来をつくる」プロジェクトを生み出しています。

CANVASホームページ <http://www.canvas.ws>

問い合わせメールアドレス information@canvas.ws



遊びと学びのヒミツ基地